

Resection Guide

乳房温存療法 Wide Excision 用デバイス
低侵襲手術実現のための先端デザイン



皮切挿入時

最適な組織切除範囲

腫瘍中心部が触診可能
正常な乳腺を温存した必要最小限の切除範囲

手術時間の短縮

組織を把持 電気メスで切除

2stepの簡便操作により手術時間短縮を実現

正確な病理断端検索に寄与

ガイドに沿って垂直に組織を切除

先端径	材質	製造販売届出番号
50mm	ステンレス鋼	一般医療機器 07B3X10004000026
60mm		
70mm		

【発明の名称】「組織切除補助器具」

【出願人】国立大学法人山口大学

【発明者】山口大学医学部消化器・腫瘍外科学 講師 山本 滋

【実施先】株式会社東鋼

〒113-0033東京都文京区本郷5-27-10

<http://www.toko-tool.co.jp>

お問合せ・ご注文は、03-3815-5811へお電話下さい。

【概要】

山口大学の山本滋講師は、乳癌の切除手術での補助器具として「組織切除補助器具」を考案し、特許を取得されました。(特許第3959473号)

平成24年より株式会社東鋼と共同で本特許の実用化を目指した開発を行い、このたび左図のような実用器具を完成し、認証(名称:乳がん用リセクションガイド)も得たことにより、株式会社東鋼にて製造・販売が開始されました。

【乳癌切除補助器具“リセクションガイド”の特徴】

- 必要最小限の組織をガイドに沿って垂直にきれいに切除できる、乳房温存療法。
- 腫瘍を中心にした切除すべき組織部分を的確に把持できる、正確な手術。
- 組織の把持、電気メスでの切除の操作のため手術時間が短縮できる。患者の負担低減。
- 正確な病理断端検索に寄与する。
- 切除サイズに依り先端径50・60・70mmの器具を提供できる。